

みずほCustomer Desk Report 2020/05/12号(As of 2020/05/11)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.96
TKY 9:00AM	106.94	1.0838	115.90	1.2417	0.6533
SYD-NY High	107.76	1.0850	116.51	1.2435	0.6562
SYD-NY Low	106.34	1.0800	115.64	1.2283	0.6456
NY 5:00 PM	107.66	1.0807	116.32	1.2333	0.6491
NY DOW	24,221.99	▲ 109.33	日本2年債	-0.170	0.00bp
NASDAQ	9,192.34	71.02	日本10年債	0.006	0.55bp
S&P	2,930.32	0.52	米国2年債	0.1758	1.60bp
日経平均	20,390.66	211.57	米国5年債	0.3488	1.58bp
TOPIX	1,480.62	22.34	米国10年債	0.7060	2.21bp
シカゴ日経先物	20,530.00	280.00	独10年債	-0.5150	2.50bp
ロンドンFT	5,939.73	3.75	英10年債	0.2675	3.45bp
DAX	10,824.99	▲ 79.49	豪10年債	0.9780	7.40bp
ハンセン指数	24,602.06	371.89	USDJPY 1M Vol	7.25	0.03%
上海総合	2,894.80	▲ 0.54	USDJPY 3M Vol	7.70	▲0.08%
NY金	1,698.00	▲ 15.90	USDJPY 6M Vol	8.03	▲0.24%
WTI	25.08	▲ 1.09	USDJPY 1M 25RR	-1.05	Yen Call Over
CRB指数	122.67	▲ 2.07	EURJPY 3M Vol	9.34	▲0.04%
ドルインデックス	100.24	0.50	EURJPY 6M Vol	9.79	▲0.06%

アジア	東京時間のドル円は106.94レベルでオープン。仲値前後でジリジリと上昇し、107円台に乗せる場面もあったが、107円丁度付近では上値重く推移し、106.80付近まで押し戻された。午後に入り、堅調な株式市場を横目にドル円は再び上昇し、結局106.99レベルで海外時間にわたった。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.99レベルでオープン。アジア時間でドルが買われた流れを引き継ぎ、一本調子で上昇し、107.30レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2413レベルでオープン。新規材料が見られないなかで全般的なドル高に押され、1.2291まで下値を切り下げた。1.2293レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	週末に中国人民銀行がより強力な政策を打ち出すと発表したことから、海外市場で円売りが強まり、加えて今週水曜日にパウエル議長が講演することからドル買いが強まっているとの話もあり、ドル円はじり高で推移し107.30レベルでNYオープン。本日は主要な米経済指標の発表が予定されていない中、一旦ドルが売り戻されるものの、円売りが継続したことから107.52まで上昇する。その後も今週は3年、10年、30年の国債入札を控え、調整から金利が上昇する中、ドル買いが継続し107.72まで上昇する。午後に発表された3年債の入札結果は良好であったもののドル円の反応は限定的となる。その後もドル買いが継続したことから107.76まで戻し、107.66レベルでクローズした。一方、世界的にロックダウンが徐々に解除され、第2波を警戒する声も聞かれる中、先日の独連邦憲法裁判所の判断が重しとなり上値の重いユーロドルは1.0809まで下落し、1.0815レベルでNYオープン。朝方は一旦ドル売りが持ち込まれたことから1.0843まで戻すが、再びドルが買い戻される展開に1.0803まで反落する。午後上値の重い展開が続き1.0800まで下落し、1.0807レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

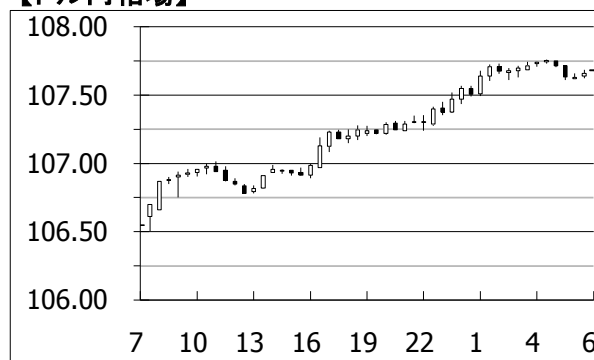
担当:小野崎・谷舗 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

【昨日の指標等】

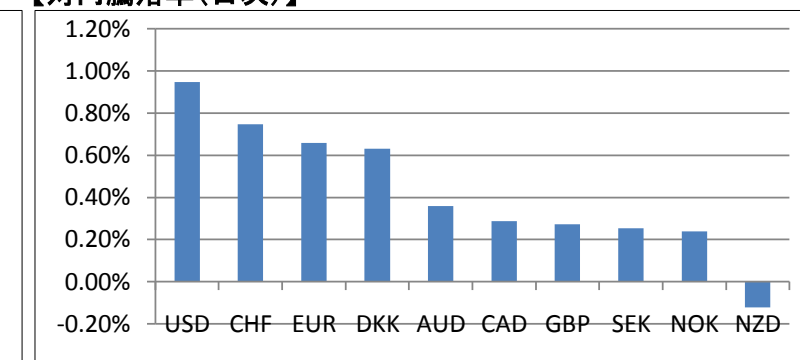
Date	Time	米	Event	結果	予想
5月12日	01:30	米	エバンス・シカゴ連銀総裁「米失業率は年末までに9%、2QのGDP40%減も」		

Date	Time	豪	Event	予想	前回
5月12日	10:30	豪	NAB企業景況感	4月 -	-21
	10:30	豪	NAB企業信頼感	4月 -	-66
	10:30	中	PPI(前年比)	4月 -2.5%	-1.5%
	10:30	中	CPI(前年比)	4月 3.7%	4.3%
	21:30	米	CPI(前月比/前年比)	4月 -0.8%/0.4%	-0.4%/1.5%
	22:00	米	ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	22:00	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米	ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米	クオールズFRB副議長 講演	-	-
	23:30	欧	ストウルナラス・ギリシャ中銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 リスクオン相場には経済活動再開が必要

国内の感染者数は緩やかながらも減少、マーケットも3月に見せたような大荒れの相場は一巡した。それでも新型コロナウイルスを巡る不安は世間にもマーケットにもくすぶり続けており、既にリーマンショック級もしくはそれ以上との声も聞かれている。そうした中で、世界全体では約8兆ドル規模の財政政策、原油価格はマイナス圏に下落、先週末の米雇用統計では雇用者数の減少幅や失業率が過去最悪の水準となるなど過去に経験のないことがここ数ヶ月で示現し続けている。

そんな中でドル円相場は上値の重い展開が続く。経済活動と感染拡大防止のバランスは大変難しいものではあるが、リスクオン相場への転換には経済活動の再開による将来見通しの明るさが見られ始める必要があると考えている。本邦では、特定警戒都道府県以外では今週14日に一括して緊急事態宣言を解除するとの話も聞こえてきているが、主要都市圏での解除は厳しく自粛モードはもうしばらく続きそうである。欧米においては4日よりイタリア・スペイン、昨日にはフランス・イギリスにおいてロックダウンの解除が始まっているが段階的なものに過ぎない。米国でも州単位のロックダウン解除が見られ始めているが一部店舗の再開に留まっている。さらには、緊急事態宣言やロックダウンが解除され始めても二次感染への恐怖感のある個人や将来への不安の拭えない企業が元通りの動きになるとは想定し難い。日本でもレムデシビルが特例承認をされたように各国が懸命にワクチン製造に励んでおり抗ウイルスへの希望が少しずつ見え始めている点は今後のリスクオンへの転換への期待を感じさせるものではあるものの、もう少しは経済への不透明感を背景とした上値の重いドル円相場を予想している。(小野崎順基)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14